

令和3年度 学校自己評価書 (計画段階 ・ 実施段階)

福岡県立福岡工業高等学校長 印
(定時制課程)

48

学校運営計画 (4月)			評価 (3月)
学校運営方針	文武両道を校はとし、豊かな人間性と創造的な知性を備え、社会の発展と文化の創造に貢献できる工業人材を育成する。 1 校訓「質実剛健 自律 創造」を体現する生徒の育成を目指した教育活動を全教職員で推進する。 2 次代を担う工業人材を育成するリーダー校としての責務を果たすべく、ものづくり教育を通して工業高校としての魅力ある学校づくりに邁進する。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<成果> 新型コロナウイルス感染の影響が懸念されたが、卒業生の希望進路の実現について概ね達成できた。職員については、SCやSSWとの連携を図りながら積極的な生徒支援を実践できた。また、学習の確保のため協議を重ね、共通理解のもと、敏速かつ柔軟的に教育実践に反映させることができた。	自ら学ぶ力の育成	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善、教科指導力の向上 新学習指導要領全面実勢への準備、評価手法の研究推進 個別対応、自己学習力育成へ向けた方策の検討	
<課題> 次世代を担う工業人材の育成を目標に、新学習指導要領全面実施に向けて基礎的な知識・技能の確実な定着と、思考・判断・表現力、学びに向かう力の伸長を促す指導体制と観点別評価の一体化を目指した研究を継続して行う。	自ら考え行動する力の育成	生徒会執行部を中心とした生徒の主体的活動による行事の運営 積極的生徒指導による自律心の育成 ネットマナー、いじめ防止等への取組の推進 カウンセリング体制の充実	
	将来を展望し自己実現を図る力の育成	キャリアデザインノートの活用や外部との連携によるキャリア発達支援 職員連携強化による組織的進路指導の充実 進路意識の向上を図るガイダンス等関係行事の効果的実施	
	信頼される学校づくり	学校ホームページ等による教育活動の積極的な情報発信 P.T.A.や工友会との協力による中学校との連携強化	
具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題
教科指導	教科指導の改善	到達目標を定めた授業展開の構築を推進する。 生徒の活動場面を意識した授業づくりやほめ鍛えることで、学習意欲を向上させる。	
	自己学習力の育成	対話的授業等により分かりやすい授業を目指し、生徒の自己学習力の育成に努める。 評価を伴う指導により、主体的に学ぶ態度と学力の定着を図る。	
	評価手法の研究推進	生徒の活動を多面的にとらえる評価の実践を推進する。 観点別評価の更なる工夫について適宜情報提供を行う。	
生徒指導	生徒の自立心の育成	毎日の登校指導や言葉遣いの指導等を通して規範意識を持たせる。 生徒が自ら判断する場面を設定することで、自己決定力を育成する。	
	生徒会執行部の育成	執行部会議を定期的に行い、行事ごとの意見を出し合う場を設ける。 協調性を身に付けさせ、行事の日程や行程の情報共有を図り、責任感の向上に努める。	
	ネットマナー・いじめ防止等の推進	SNS上での被害調査を行うとともに、専門家の意見を聞く場を設定し啓発活動に努める。 毎月のアンケートをもとにいじめ対策委員会と連携をとり、いじめの未然防止に努める。	
進路指導	組織的進路指導の充実	生徒の進路実現に向けて、進路試験及び就職試験において、基礎・基本である言葉遣いや礼節等を常に意識させ、全職員共通認識のもと、その育成に取り組む。 全日制進路指導部及びハローワーク等との連携を図り、求人情報を提供する。 夏季休業期間に、就職及び進路試験に対応した指導を行う。	
	進路行事の効果的実施	生徒の実態を見通しての講師等の選択を行う。 行事等を通じて生徒のキャリア意識を把握し、キャリア育成の向上に活用する。	
保健・給食指導	主体的な健康課題解決能力の育成	毎日の検温を継続実施し、感染症の予防など心身共に健康な生活を送ることを意識させる。 生活習慣等の調査を実施し、自ら健康課題の発見を行い、その解決に向けて取り組めるよう支援する。	
	食を通した自己管理能力の育成	食事中のマナーを意識し、給食時における感染症予防対策を継続して実施する。 食への意識に関する調査を実施し、実態や経年比較から食への関心を高め、習慣化に繋げる。	
人権教育	人権意識の高揚	人権学習や授業等を通じて生徒の自尊感情を高め、人権尊重の精神の育成に努める。 研修内容を充実させ、職員の人権意識の向上を図る。	
	人権学習の充実	人権学習に視聴覚教材等を積極的に取り入れ、わかる授業を推進する。 講演等を通じて、人権を尊重することの重要性を肌で感じさせる。	
研修	計画的な研修の実施	生徒の学習状況、学校生活の実態把握に努め、全職員で情報を共有し、指導に活かす。 教務、生徒指導、人権教育等と連携した内容で校内研修を実施する。	
	外部との連携の充実	SC, SSW等と連携し、チームによる生徒支援体制の確立を図る。 職員のICT活用力の向上につながる研修の情報の提供に努める。	
保護者との連携等	積極的な情報発信	ホームページを充実させ、学校の内外から情報をアクセシブルやすくする。 学校案内をより見やすいものへブラッシュアップし、定時制の魅力を発信する。	
	外部との連携強化	福工定安心メールを活用し、保護者等にも積極的に情報を発信する。	